

は出席せられたれとも時刻遅れたる為め次回に譲ることゝせり、

144 東京法学院学術講談会

〔「法学新報」第一一九号 明治三十四年二月二十日〕

○法学院学術講談会

去月二十一日午后一時より同院の講堂に於て開会せり。傍聴人無慮一千余名第一席法学士松波仁一郎（英国法の研究に就て）第二席花井卓藏（非刑法改正の声）の両氏痛快の弁を以て有益なる講話を為し特に花井氏の如きは三時間余に涉りて最も熱心に現行刑法改正の可否に関する議論を試み大に傍聴人を感動せしめたり当日は法学博士穂積八束氏の講演ある予定にて同博士